

大谷大学 学士課程の教育方針

(文学部・社会学部・教育学部 2018年度以降入学生)

【教育目標（人物養成上の目的）】

各学部の人物の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- (1) 文学部は、歴史の中で蓄積されてきた多様な文化的所産に学ぶことを通して、人間と世界に関わる根本的な問題を解明し、深く自己を洞察しつつ現代社会を主体的に生きることのできる人物の養成をめざす。
- (2) 社会学部は、現代社会の諸課題に向き合うことを通して、地域社会など身近な場において、異なる他者と敬い合いながら生きることのできる世界を構築する構想力と実践力を身につけた人物の養成をめざす。
- (3) 教育学部は、純真な人格形成を目指す高い教職意識と責任感を持ち、社会的常識や対人関係能力を備えて子どもたちの声に耳を傾けることのできる、慈育の精神に富んだ専門職業人の養成をめざす。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー DP）】

本学は、各学部ごとに卒業時に学生が身につけるべき下記の能力（教育研究上の目的）を定め、これらの能力を身につけることを到達目標とするカリキュラムを編成する。本学は、所定の期間在学し、所定単位の修得をもって教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

<卒業時に身につけておくべき能力（教育研究上の目的）>

I. 全学共通開講科目（共通基礎科目・現代総合科目）

- (DP1) 外国語を使用して、基礎レベルでの読解、会話、表現ができる。〔技能・表現〕
- (DP2) 日本語を使用して、正確に読解し、論理的に表現し、的確に議論することができる。〔技能・表現〕
- (DP3) 人間・社会・自然環境について、幅広い知識・知見を身につけている。〔知識・理解〕
- (DP4) 人間・社会・自然環境に関して問題を見だし、課題を設定しようとする意欲をもつ。〔関心・意欲〕
- (DP5) 人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析することができる。〔思考・判断〕
- (DP6) 自己と他者への理解を深めながら、主体的にさまざまな問題解決に取り組むことができる。〔態度〕

II. 各学部開講科目（学科専門科目）

(1) 文学部

- (DP1) 外国語を使用して、基礎レベルでの読解、会話、表現ができる。〔技能・表現〕
- (DP2) 日本語を使用して、正確に読解し、論理的に表現し、的確に議論することができる。〔技能・表現〕
- (DP3) 人間・社会・自然環境について、幅広い知識・知見を身につけている。〔知識・理解〕
- (DP4) 人間・社会・自然環境に関して問題を見だし、課題を設定しようとする意欲をもつ。〔関心・意欲〕
- (DP5) 人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析することができる。〔思考・判断〕
- (DP6) 自己と他者への理解を深めながら、主体的にさまざまな問題解決に取り組むことができる。〔態度〕

(2) 社会学部

- (DP1) 地域社会に関するさまざまな専門知識に加え、政治や経済、行政機構や経営、情報技術、法律などの専門知識について、地域での実践との関わりのなかで総合的に理解している。〔知識・理解〕
- (DP2) 実践活動を行っていく上で必要とされるコーディネーション力やファシリテーション力、マネジメント力、情報技術を活用した情報発信のスキルや統計処理といった技能や技術を身につけている。〔技能・表現〕
- (DP3) 地域社会に関する理論と現場理解を基盤に、多面的な視野から状況を判断し、地域が抱える問題の本質を見抜くことができる。また、論理的、創造的にものごとを考え、具体的な問題解決策を提案できる。〔創造的思考・判断〕
- (DP4) 地域社会における諸問題に関して、仏教的「相互敬愛」の精神から解決に向けた課題を設定し、その検証に積極的に取り組もうとする意欲をもつ。〔関心・意欲〕
- (DP5) 自己と他者への理解を深めながら、主体的にさまざまな問題解決に取り組み、人間・社会・自然環境に関して協調の方途を見だし、課題を設定しようとする意欲をもつ。〔態度・関心・意欲〕

(3) 教育学部

- (DP1) 子どもと関わることを通して、人間存在への慈しみや、教育愛を持つことができる。〔態度〕
- (DP2) 教育に関する指導法の習得を通して、他者とコミュニケーションを取ることができ、円滑な人間関係を形成することができる。〔技能・表現〕
- (DP3) 教育に関わる人間・社会・自然環境について、幅広い知識・知見を身につけている。〔知識・理解〕
- (DP4) 教育を中心とする社会・自然の諸問題に関して、課題を設定しようとする意欲をもつ。〔関心・意欲〕
- (DP5) 人文・社会諸科学の幅広い知識を用いて、教育に関わる諸問題の諸相を分析することができる。〔思考・判断〕
- (DP6) 教育の諸問題への理解を深めながら、より良い社会形成へと主体的に取り組むことができる。〔態度〕

【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

本学では、「学位授与方針」に定められた能力を身につけるために、以下に示す3つの科目群（共通基礎、学科専門、現代総合）を基盤とした教育課程をもうけ、各科目群のねらいに応じて重点箇所を◎および○で示す。（◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている）教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目および自由科目に分け、これを各年次に配当し、講義、演習等適切な方法により実施する。（自由科目は、現代総合科目および自己選択科目をいう。）

共通基礎科目

教育目標を達成するための根幹をなす科目を各専門共通の基礎科目として開講し、ブッダと親鸞の基本思想を通して人間について考える「人間学」、高校までの学びから大学の学びへの転換と専門への接続をはかる「導入科目」、およびグローバル化時代の共通言語である英語をはじめ、様々な言語を学びながら文化の多様性に触れる「外国語」を置く。

学科専門科目

各学科、コースごとの専門的な学びを修得するための科目を学科専門科目として開講し、専門の体系的理解を促す講義や、知的探究心を呼び起こす実践研究等の科目を置くとともに、自らの課題を専門分野の視点から問い直し、発表と議論を通して研究を深める演習の科目を置き、これらの学びをふまえて卒業研究の作成を目指す。

現代総合科目

専門分野の補完や幅広い現代教養（キャリア形成・自然生命・歴史文化）のための科目を現代総合科目として開講し、各自の興味や関心にあわせ、3つの系ごとに自由に科目を選択して学習する。

I. 全学共通開講科目（共通基礎科目・現代総合科目）

科目群		履修 単位	学年 配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	各科目群のねらい
共通 基礎 科目	人間学Ⅰ	4	1			○	○		◎	仏教思想を通じて、「人間」に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う。
	人間学Ⅱ	4以上	2～4			○	○		◎	さまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで、自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する。
	学びの発見	2	1		◎		◎		○	これまでの「学習」から大学の主体的な「学修」への転換とともに、専門的な「学修」への接続を図る。
	外国語Ⅰ・Ⅱ (英語)	-	1～2	◎		○				国際的な言語である英語について、これまでの知識を再確認し、いっそうの学力向上を図る。
	外国語Ⅰ・Ⅱ (初修外国語)	-	1～2	◎		○				ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語といった他国語を学び、文化の多様性にふれる。
	選択外国語	0以上	1～4	◎		○				語学力を高めるとともに、多様な文化への理解や国際的なコミュニケーション能力を養う。
現代 総合 科目	キャリア形成系	-	1～4			○	◎	○		社会的に貢献するための幅広い知見を身につける。
	自然生命系	-	1～4			◎		○		自らを取り巻く自然環境を知り、命やこころへの理解を深める。
	歴史文化系	-	1～4			◎		○		世界の歴史と文化を多角的に理解する。
自己選択科目	0以上	1～4	-	-	-	-	-	-	各自の興味や関心に応じて、他学部・他学科の学科専門科目の中から自由に科目を選択し、教養をさらに広げる。	

Ⅱ. 各学部開講科目(学科専門科目)

(1)文学部

科目群		履修 単位	学年 配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	各科目群のねらい
学科専門科目	演習Ⅰ～Ⅳ	-	1～4		◎		○	◎	◎	4年間にわたる段階的な学びにより、専門における読解、思考、表現の方法を修得し、卒業研究作成に必要な探究能力を培う。
	概論	-	1～4			◎		○		専門とする学問を概観するとともに、個別の課題をその学問全体の中に位置づけ、専門に関する体系的理解を図る。
	講義	-	1～4			◎		○		専門とする学問の講義を通じて、基本的もしくは個別的課題に関する知識を身につけ、専門における考察能力を高める。
	実践研究	-	1～4	◎※	○		◎		◎	専門に関する文献や技術とじかに接することにより、専門における問題を自らの課題として捉え、考察する訓練を行う。
	卒業研究	8	4	○	◎	○	◎	◎	○	大学の学びを通じて身につけた能力を総合的に駆使し、粘り強く研究を遂行する。

※は、国際文化学科のみ該当

(2)社会学部

科目群		履修 単位	学年 配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	各科目群のねらい
学科専門科目	演習Ⅰ～Ⅳ	-	1～4	◎	◎	◎	○	◎	-	4年間にわたる段階的な学びにより、専門における読解、思考、表現の方法を修得し、卒業研究作成に必要な探究能力を培う。
	概論	-	1～2	◎	○	○			-	専門とする学問を概観するとともに、個別の課題をその学問全体の中に位置づけ、専門に関する体系的理解を図る。
	講義	-	1～4	◎	○	○			-	専門とする学問の講義を通じて、基本的もしくは個別的課題に関する知識を身につけ、専門における考察能力を高める。
	実践研究	-	1～4	○	◎	◎	◎	◎	-	専門に関する文献や技術とじかに接することにより、専門における問題を自らの課題として捉え、考察する訓練を行う。
	卒業研究	8	4	◎	◎	◎	○	◎	-	大学の学びを通じて身につけた能力を総合的に駆使し、粘り強く研究を遂行し、その結果を表現する。

(3)教育学部

科目群		履修 単位	学年 配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	各科目群のねらい
学科専門科目	演習Ⅰ～Ⅳ	-	1～4		◎	○	◎	○	◎	4年間にわたる段階的な学びにより、専門における読解、思考、表現の方法を修得し、卒業研究作成に必要な探究能力を培う。
	概論	-	1～2	○		◎	○	◎		専門とする学問を概観するとともに、個別の課題をその学問全体の中に位置づけ、専門に関する体系的理解を図る。
	講義	-	1～4	○		◎	○	○	○	専門とする学問の講義を通じて、基本的もしくは個別的課題に関する知識を身につけ、専門における考察能力を高める。
	実践研究	-	1～4	◎	◎	○	◎	○	◎	専門に関する文献や技術とじかに接することにより、専門における問題を自らの課題として捉え、考察する訓練を行う。
	卒業研究	8	4	○	◎	○	○	○	○	大学の学びを通じて身につけた能力を総合的に駆使し、粘り強く研究を遂行する。